



川崎愛児園 さくら



2017. 7号

発行

社会福祉法人川崎愛児園
児童養護施設川崎愛児園
発行月 平成29年9月

住所

〒216-0035
神奈川県川崎市宮前区
馬絹1丁目24番5号
TEL: 044(855)2591
FAX: 044(865)4445
mail: kaijie@k-aijien.jp

印刷

野崎印刷紙器株式会社

分らないことが多い



理事長
野村 隆

今年も各地で自然災害が生じていますが、人も自然も逞しく再起・再生しています。多くの方々が復旧・復興を支援されていることに敬服しています。

共生の精神が社会を支えていることを感じ児童養護施設法人運営に努めております。

私は小中学生の頃に、社会組織は全て出来上がっていて、新しく発見されたり発明されるものではなく、もっと前に生まれていれば良かったのと思っています。社会人になって、仕事をしていくうちに、みんながやっている業務は最善の方法で行われているのではなく、慣習・先例によって行われていることが多く、欠点を抱えていることに気づきました。また、社会・自然科学の多くの分野で、従来の知識・常識が誤っていたり不完全なまま適用されていて、訂正・改正が必要であることに気づきました。

社会生活は諸分野が相互に関連して成り

立っているもので、一分野のみが突出できるものではないと思っています。専門家は知識が深くなるほど、その分野が重要であるとして、他の分野・組織を排斥する傾向が生じています。福祉でも実務に長じた人に共生の心を離れた思考が起りました。

政治の方では内外共に「〇〇ファースト」が勢いを得ています。先端科学の研究の情報に接していると、それぞれの分野で分かっていることは極めて僅かなもので殆どのは未知であるようです。「分らないことが多い」から、命を守るためには共助共生が必要であると確信します。

社会福祉法人川崎愛児園には新しく地域小規模施設「結」が増えました。施設のことでも達を健全に養護するとともに地域の方々と交流を深め子育てに貢献し、行政と連携して新しい施策への参画を図ります。運営を支えるための財務基盤の健全性を保ち透明性の高い経営を行うことが責務であると自覚しています。今後ともご支援・ご援助とご指導・ご鞭撻をお願い致します。

広報誌第7号に寄せて



施設長
白戸 隆

「お世話になっているみな様に川崎愛児園の様子をお知らせしたい」、「支援してくだ

さる方々の声を川崎愛児園から紹介したい」、「読んでいただける中身のあるものにしたい」というおもしろい感謝の気持ちを込めて、今年も年に1回の広報誌を発行することができました。

さて、多くの子どもたちと過ごしていく場所ではいろいろな出来事があります。本年は新任職員を10名迎え施設の雰囲気様がかわりしているように映ります。職員の個性を生かしつつ、職員一人ひとりが理念・基本方針・養育目標を理解し困難な課題に直面したときにこそ、子どもの将来をイメージしつつここでの場面どう向き合っていくのかを工夫し、いずれ子ども達と過ごしたことで得られる幸福感を味わって欲しいと思います。

それは同時に、子どもたち一人ひとりの幸福感を醸成していく作業でもありひとりの人間としての成長過程で出会う我々の職業としての責務でもあると思います。社会の中で人と調和しながらも自分らしく生きていくためのあらゆる力をたくさんの方々の経験を通して身に付けさせたいと思います。そのためには、建物、人、取り組みの工夫、あらゆることを運用するセンスが必要です。関わる全ての人のご意見をよく聞きプラスαの何かを得て子どもたちに還元していきたいと思っています。

今年度より地域貢献、公益活動をより明確にしていきたいと思います。特に地域の子どもたちへの学習支援事業を展開し、そこから更なるニーズに添えていく予定です。町会や自治会の方々と関係を密にし、ボランティアの方々の組織化や協力を一層推進していきます。また、異種事業種の方々と連携し生活課題を抱えている方のために役立ちたい、「あそこの施設があつて良かった」といわれる地域の存在を目指していこうと思っています。

当法人は命の尊さを大切にし、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で「将来を担う子どもたちへ」の質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。

「地域の中での養育と子育て支援」

「健全な経営」

児童一八ひとりが命を大切にすることをもち、心身ともに健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。また、施設機能の専門性を活かして地域社会に協力します。

1. 一人ひとりの心身の成長に努めます
2. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
3. 一人ひとりの幸福のために支援します
4. 自立した社会生活が営めるように支援します
5. 施設の社会的、専門的役割を果たします

社会的養護を必要とする入所児童に対しての基本目標は次の通りです。

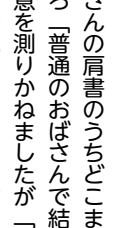
1. あいさつの正しくできる人に
2. 健康な体と心をもてる人に
3. 人に好かれ、社会に役立つ人に
4. 感謝の気持ちをもてる人に
5. 人との調和がとれる人に
6. 思いやりのある人に
7. 基本的な生活や自立した生活ができる人に

評議員
鈴木
寛



私には仕事柄、会議や研修会といった場面で司会や座長といった役目を仰せつかることが多いのですが、ある時私が座長をするのでありますが、ある時私が座長をするのでありますが、ある時私が座長をするのであります。座長として会議の参加者に紹介するにあたりた

くさんの肩書のうちどこまで紹介すべきかご本人にお尋ねしたところ「普通のおばさんで結構です」とにこやかに返答されたので真意を測りかねましたが「常に―普通のおばさん―の視点を忘れずに研究をされている方です」と紹介させていただきました。



会議のテーマは「養育と権利擁護」でしたが、議論を開始するにあたり、座長として次のような発言をさせていただきましたすなわち「このテーマは相いれない部分が多く養護、保育、学校の現場、そして何より家庭において様々な迷いや混乱を招いているという現実があります」と。

これを受けるかたちでM女史は「子育ての現場は様々な矛盾する問題の連続であり、常に答えを求められる」と述べられました。また先生は、現場で出される様々な「答」に対しては十分尊重されるべきであり、専門家と呼ばれる自分達はただ単に言葉でそれをなぞっているに過ぎないと言われました。

もとより矛盾する問題に正解などありえず、子供を守り育てるという信念から導かれた「答」に専門性の入り込む余地はないとの考えを示された訳です。

「ここまで聞いて、鈍い私にもやっと『普通のおばさん』の意味が分かった気がしました。」

先生はことさら謙った表現をされたわけではなく、矛盾する問題に正面から挑む姿勢に対して敬意を表する意味で「普通」という言葉を使ったのだと。

また同時に、私たち現場の人間に対し真摯に「答」を求める姿勢を取り続けるようエールを送られているような気がしました。

考えてみれば、子育てという行為は人間の営みの中で最も崇高なものであり、仕事、学問、社会生活といったことは、その前ではすべて「普通」のことなのかもしれません。私も30年以上児童福祉に携わってきましたが、「普通のおじさん（おじいさん？）」「普通のスタンスを忘れることなくこれから子ども達と係わる仕事をしたい」と強く思った次第です。

評議員 出澤 健一郎



ここ数年、国や川崎市において「社会福祉法人の地域貢献」「我が事、まるごと」「地域包括ケアシスの推進」など、地域生活の支援が叫ばれています。何か新しい枠組みが始まるかのよう

うな雰囲気ではありませんが、要は児童・障害者・高齢者等の制度を縦割りでなく、誰もが慣れ親しんだ地域で生活できるような環境を作って行こうということだと思います。

川崎愛児園も今まで、子ども達の生活の場として、地域との関係づくりに熱心に取り組んできたと思います。

この間、白山愛児園の開設や川崎愛児園の建て替え、グループホーム、児童家庭支援センターの運営など様々なことにも取り組まれています。

今まで、制度の枠組みの中でどうしても児童・障害・高齢等の縦割りの支援の視点で見ていたものが、「地域におけるケア」「統合ケア」という地域包括ケアシステムのキーワードで考えると、違ったものが見えてくるような気がします。

「統合ケア」とは、一人の利用者、一つの家庭に対して複数の支援者が統合された支援計画に基づいて支援すること、とあります。児童虐待にも全く同じことが言えると思います。

現在、川崎区や高津区において児童・障害者・高齢者に関する支援機関、医療関係機関、行政機関の方々が任意で定期的に集い、複合課題ケースの事例検討を通してネットワークの強化を図っています。

この中で、児童家庭支援センター・地域包括支援センター・障害者相談支援センターの連携強化、とりわけ児童家庭支援センターとの連携で家庭への支援力がアップしているという効果も出ています。

川崎愛児園は、二つの児童家庭支援センターを展開しており、地域に開かれた両面で、これまで以上に地域との関係強化や、地域の様々な関係機関とのネットワークを構築し、入所機能を含めた強みを発揮して欲しいと思います。



平成 29 年度 ご寄附者様一覧

日頃よりご支援・ご協力いただきましてありがとうございます。

尚、一部お名前が分からず姓のみとさせていただいている方もいらっしゃいますがご了承下さい。

またお名前に誤字脱字等ございましたら、ご一報・ご指摘下さい（順不同・敬称省略）。

個人 … 手塚勝也／太内義明／菊池哲夫／瓜田緑／平岡康子／平田喜一郎／嘉山兼則／木内賢一／柴田弘之・和美／戸石浩司／陽子／上原久典・経代／平林茂／中田紘一郎・めぐみ／落合文雄／小島喜芳／青山光征・良子／石川誠・洋子／伊崎暉子／狩野順子／安藤久久／田中洋子／目代由美子／松本良保／北川智子／佐々木裕子／山川洋子／近藤智恵／清水史／吉田薫／幸山真理子／立原智子／宇田川恵子／織茂耕治／中神智美／加藤信二／瀧澤祐子／住職 安藤秀岳／友松祥之介・利英子／浅岡栄／福井文治／三宅寛／渡辺俊子／青木隆／小宮山康生／藤田奈保子／佐々木朋美／吉原保昭／眞田恵子／山川きよ子／大川原美樹／工藤淑子／鈴木政明・雅代／嘉山紘子／竹内綾／田辺国治／立原希哲／市川洋子／中田由紀子／片岡サカエ／秋岡正男／小関博之／石川紘子／飯島正之／岩崎輝子／松本喜一・美希／栗山恵吉／宮城久美子／的場稲恵／佐野悦雄／バルーンメッセンジャー 長澤義浩／森正俊／本川由香／伊地知洋／長澤安記／道岡鮎子／杉野綾子／武蔵澄子／堀富博／上地雄輔／柏崎恵美子／松本由紀子／西武ライオンズ 中村剛也／岡嶋弘／小西山香菜子／瀬川成躬／小泉明／小沼麗子／平野町会町会長 加登直代志／須藤敦子／井上智恵子／出口賢道／中田綾子／岡田広介／渡辺欣哉／有馬療養温泉 安岡重高／酒井さおり／武井明／西中山あすか／小関博之／吾妻良和／中野徹／岡田美智子／芹田加代子／横井／信行寺住職 浅野弘毅／藤田友子／重谷智香子／福田美栄／志村俊彦／清水新一／植田優／田中章皓／民生委員 安藤詳一／佐藤慎一／宮前第一地区社会福祉協議会会長 青木寅治／田中知佐江／黒田尚代／石井摂子／梅本貴音／加藤昇／加藤奈津美／谷山徳法／矢城協子／飯島由里子／神道麻貴子／中島紀夫／大木直美／山本周子／佐藤良勝／川上靖雄／橋本／茶谷聖美／山田真弓／広瀬綱子／垣谷江里子／坂井マスキ／長岡いづみ／佐々木ちえ子／宮前第三民生委員 加瀬加代子／白鳥幸子／勝野由美子／丸山次夫／萩田強／安岡正則／セルマ中村／森岡リエ／宮城みづえ／津崎一郎／藤谷裕美／大橋由利／平井幸／篠田フミ／横浜マリノス株式会社 齋藤学／水口／長谷川／新井／田中／岡／谷／他／匿名多数

団体 … 川崎市／川崎市社会福祉協議会／神奈川福祉事業協会／こども元気！内科クリニック／セブンイレブン新川崎店／読売新聞川崎読売会／毎日新聞東京社会事業団／大和リース／三菱ふそう労働組合本社支部／(株)朝日ホーム／紫虹会少年部／ルミエール小児歯科／川崎富士見ライオンズクラブ／日本乳化剤(株)／ヒロノ商事(株)／宮崎小学校校長・教員／(株)ワコーエンジニアリング／(株)シュガーレディー本社／(株)カレンズ／北信土建(株)／(株)チュチュアンナガイア川崎店／ガイアくらくろ館／京セラ宮前平寮／青木萬吉商店／(株)ファー・イースト・ネットワーク／井上ラジオ／吉兆野川店／リ・ケア福祉サービス／ぶちラブルジュ会／宮前平医院／特別養護老人ホーム等々／玉川高島屋／初山幼稚園／Curves(川崎鷺沼店・川崎宮崎台店・センター北店・センター南店・ダイエー向ヶ丘店・モアナイス上小田中店・横浜吉野町店・横浜鶴島店・港北新羽店・すすき野とうきゅう店・麻生百合丘店・溝の口店・稲田堤店・市ヶ尾店)／日本鐘餅組合／(株)サニクリーン東京／(株)エヌアセット／一般財団法人チャイルドワン／田園調布豊葉学園中学高等学校エリザベット会／三橋園／遠藤環街(株)／(株)ライオン事務器／神奈川トヨタ自動車(株)／こどものいえも保育園／フィリップモリスジャパン(株)／関口電機／川崎市歯科医師会／城南信用金庫宮前平支店 支店長 光英正史／馬絹郵便局／ワールドメイト／根岸米軍／(社)神奈川県養豚協会／小味山電気管理事務所／ショッパド／丸井川崎店／(株)ドリマックス・テレビジョン(ドラマ本部)／(株)しむら／内海哲也ランドセル基金運営事務局／NKKシームレス鋼管(株)／クボタ眼科／奥野設計／(株)エルプラス／(株)ガイアフィールド／東芝労働組合小向支部／東芝労働組合本社／コストコホールセールジャパン(株)／一般社団法人神奈川県馬主協会／(株)UYEKI／(株)伊藤園神奈川西地区営業推進課／東京電力／高津看護専門学校学友会／たいまつ食品／東急百貨店グループ労働組合／グリーンハイツ手づくりの会／十文字学園女子大学／ダスカジャパンファウテック／NPO法人RISE JAPAN／(株)茂園食品／東京福祉大学リハビリホームくらら鷺沼／日本農産工業株式会社／カネコ文具店／東洋大学／梅原農園／(有)ウエハラ新聞舗宮前平サービスセンター／認定特定非営利活動法人ハッピーステップス／(公社)全日本不動産協会川崎支部／春日山部屋／東京医療専門学校／鶴見大学短期大学部／水上学園／トイザらス／(株)大和人／ほっともっと／ミサワホーム(株)／グリーンハイツ／あいおいニッセイ同和損害保険(株)MS&ADゆにぞんズマイルクラブ／日本出版販売(株)／楽天株式会社CSR部／アーバンロケサービス／一般社団法人川崎地域自治研究センター／(株)アパマンショップネットワーク／明治安田生命保険相互会社／神奈川県運動具商協同組合／宮前区社協／神奈川県社会福祉協議会／日能研／全国チャンメリー共同組合／横浜西ロータリークラブ／ギャップジャパン(株)／コーポレートコミュニケーションズ／日本児童文芸家協会 理事長 矢部美智代／元型物寄贈プロジェクト事務局 久坂セタ／親道山慈照寺／常葉寺／(株)ajet japan 代表取締役 長澤健太／東芝セキュリティ(株) 芳賀淳一／株式会社プレナス 田中健司／長岡米専 社長 松本亮平／株式会社日本教文社／株式会社ハイパーフィットネス代表取締役 亀田政幸／宮前区更生保護女性会／オシャレ工房KBN株式会社 代表取締役 齊藤越嶋／ファンケル化粧品／オリモファーム／カンガルー宮前子育てねっとわーく／岡田会計 岡田玲子／大学不動産連盟／(株)クレヨンハウスmorimotoプロジェクト／日本フィルムメニヒ(株)／ムーンバット／プレム・ラワット日本事務局 合同会社文屋代表 木下豊／株式会社三菱東京UFJ銀行／高津○ネットあつぷる溝の口／NPO法人NGOフク21ふらっとホーム／グランフィールズカントリークラブ 代表 杉山孝／読売センター川崎駅前所長 酒井通雄

その他 … 愛児園祭りバザー品寄附：沢山の方々のご協力に感謝申し上げます。

川崎愛児園祭りのお知らせ

来たる

平成 29 年 10 月 14 日 (土)

10:00 ~ 14:00

毎年恒例の愛児園祭りを開催いたします!!

川崎愛児園ではバザーの提供品の募集をしております。ご提供していただく品物に決まりはありませんが、未使用品とさせていただきます。

ご提供いただける場合は、おそれ入りますが10月13日(金)までに直接川崎愛児園に品物をお持ちいただければ幸いです。

毎年多くの方々に品物を頂いて盛況に行うことができます。

今年もご協力いただけますようお願いいたします。





本園だより



幼児フロア

つぼみ

ユニット内で引越しをし、現在では幼稚園生から小学2年生までで生活しています。2人の子どもが新幼稚園生となり、元気に登園をはじめました。

学習に積極的な子が多く、年長組の子ども達は家庭学習ドリルを活用し自主的に勉強を進めたい気持ちで、尊重し、応援しています。踊りや歌うことが好きな子が多いユニットです。明るく・元気に・仲良く過ごしています。



わがは

ユニット内引越しのため、現在では未就学児から小学2年生までで生活しています。1人が新幼稚園児となり、楽しみに通う姿がみられています。



身体を動かすことが好きな子が多く、公園遊びが大好きです。室内遊びだけでなく外遊びにも積極的に出掛け、沢山体を動かしています。

学童女子フロア

わんげ

こんにちは！今年度は中学1年生から専門2年生まで生活しています。

また、昨年度はお互いの生活を譲り合えず、苛々したり、自分の想いを口に出せず悩んでいる様子がみられましたが、児童と話し合いを重ね、お互いに譲ったり、我慢したりと思いやりのある生活が少しずつ営まれようとしています。

児童らも普段は自分の好きなことに夢中になっていますが、主体的に園内行事の出し物を考えたり、お別れ会を行ったりする姿もみられています。

今年度も個と集団の両方の良さを活かしつつ、丁寧な支援を心がけていきたいと思っています。

すずらん

こんにちは！今年度は小学校5年生から大学2年生まで生活しています。

昨年度は児童の経験を増やそうと、海やスケートへ出掛けたり、ユニットでパンや昼食作りを行いました。経験したことがないことを挑戦することはとても勇気がいることですが今年も多く多くの体験から児童らの興味や関心を引き出し、経験を重ねていきたいと思っています。

今年度は詩吟や行事に力を入れ、児童の成長を促していきたいと思います。

そして今年度は1名の児童が自立を控えています。退所後も帰ってくる場所となるよう、温かくサポートしていきたいと思っています。



学童男子フロア

あおは

あおはユニットは小学校2年生から中学校3年生までの8名で生活しています。小学生達は好奇心旺盛でユニット内や園庭に秘密基地を作ったり、工作を楽しんだりしながら元気いっぱい生活しています。中学生の3名は全員が卓球部に入部し、好成績を目指して練習に励んでいます。



活動的な子どもが多いので時には喧嘩をすることもありますが、すぐに仲直りをして、笑顔で遊ぶ姿を見ると一人ひとりの間に強い絆が生まれてきている事を感じています。

ふたは

ふたはユニットでは小学校1年生から高校2年生までの7名が生活しています。高校生が3名いる分、小学生中心のあおはユニットよりは落ち着いた雰囲気があります。高校生はアルバイトを頑張っており、職員と仕事の難しさややりがいについて話す事が多くあります。中学3年生の児童は部活動を頑張っており、昨年は関東大会に出場する程の活躍をしました。そんな中高生の頑張りは小学生や私たち職員にも勇気を与えています。



新園舎になってからの様子 フォトギャラリー

梅干し作り

みんなでお花を植えました



ホームだより

地域小規模児童養護施設

野川つくしホーム

つくしホームは昨年度高校3年生の児童が受験を経て無事大学生となりつくしホームを退所しました。また、軽井沢にスキー旅行へ行き、スキーやスノーボード・観光を思い思いに出発することが出来ました。今年度は中学1年生の児童と他ホーム・他部署からの異動職員2名が新たに加わりました。一人ひとりの長所や課題に向き合い子どもたちが安定した生活を送ることが出来るように職員一同支援していききたいと思ひます。また、ホーム行事や外出を通して子どもたちとの楽しい思い出を増やしたいと思ひます。



地域小規模児童養護施設

野川すみれホーム

野川すみれホームは現在6名の子ども達が一緒に暮らしています。今年度は、進学した児童が2名、受験生が1名、自立の児童が1名となり、子どもも大人も慌ただしい1年となります。その中でも、思いやりを忘れず生活すること、自身で「考える力」を付けること、伸ばすことを目標に各々頑張っていると思います。

また、昨年度は行事にもたくさん参加しました。夏期転住では三重県に行き、伊勢神宮を巡ったり、長島スパランドで遊んだり楽しむことが出来ました。冬はボーリングやデイズニール招待等、一年を通して良い思い出を作ることが出来ました。今年度も、良い思い出を子ども達と職員とで一緒に作っていききたいと思ひます。



地域小規模児童養護施設

生田あやめホーム

昨年度は小学2年生の子が退所し、高校3年生の子が2名無事に就職し、グループホームへと旅立って行きました。思い出作りに花やしきや鴨川シーワールド、デイズニールなどに行き楽しい時間を過ごしました。今年度は新しく高校1年生の子と本園から2名あやめホームに移動してきた子ども達を迎え、5名でのスタートとなりました。新しい職員も2名迎え、まだまだ人間関係が手探り状態の所もありますが、温かく、居心地の良い場所になるように、試行錯誤しながら素敵なホームを皆で作っていききたいと思ひます。



自立援助ホーム 大志



自立援助ホームは、義務教育終了後、様々な理由で家庭にいらなくなり、また児童養護施設等を退所し働かざるを得なくなった15歳〜20歳までの青少年が生活をしています。昨年度は4月より6名での生活がスタートして、家庭復帰や住込み就労、一人暮らし開始の為に7名ホームを築立っています。新たに入居した児童は5名です。

現在は19歳の女子2名、18歳女子1名、17歳女子1名で生活をしています。

児童は職員や友人・知人・職場の先輩などに力を借りながら個々に頑張っています。



どろんこ遊びと
ウェルカムボード作り



七夕行事に
手作りごはんと
おやつ作り



料理の得意な職員が
誕生日や夕食に手作り!
・ぎょうざ・パンケーキ
・はらぺこあおむしの
サラダ etc...



高齢者カフェ『桃花』

異世代交流

＊まぎぬ児童家庭支援センターの活動内容＊



りと子どもにより様々ですが、皆さまから優しくしていただき楽しい時間を過ごすことができました。ボランティアでお手伝いいただいた地域の方々や民生委員の方々、私たち職員も交え幅広い年齢の異世代交流の場になり全員で楽しい時間が過ごすことができました。今後も、地域の福祉活動の一助になるよう続けていきたいと考えています。

当法人は「地域における公益的な取組」として、宮前第3地区社協が開催する高齢者カフェ『桃花』の運営にセンター職員が協力しています。

8/17には川崎愛児園の「地域交流スペース」でカフェが開催され、地域にお住まいの方々がいらしていました。愛児園に入所する子ども達が、皆さんに応援いただきながら元気に踊りを披露してくれました。また、一緒に童謡を歌ったり、皆さんからあやとりや折り紙、お手玉、けん玉などの昔遊びを教えていただきました。参加された方々が子どもたちと触れ合いながら、自身の子ども時代を思い出し徐々に元気になっていく様子が印象的でした。また、子どもたちは普段は接する機会のない祖父母世代の方と交流することができました。恥ずかしがったり甘え上手だった



地域における公益事業予定

―ひとり親家庭等生活・学習支援事業―

川崎愛児園では平成29年10月より、川崎市内に居住するひとり親家庭の小学3年生から小学6年生までの子どもや親御さんを対象に、放課後から夜にかけての生活と学習の支援を、高津区の橘地区内で実施します。

具体的には、宿題や予習・復習、遊び等の諸活動、調理・配膳等の手伝いなどを、当法人のスタッフに加えて、地域の方々や学生等のボランティアと一緒に活動します。食事・学習ボランティアを随時募集しておりますので、ご興味のある方はご連絡下さい!!

夏休みオープンスペース

『カムカム』



地域のお子さんや保護者の方に「川崎愛児園」や「まぎぬ児童家庭支援センター」を知ってもらいたいとの思いで開催となりました。夏休み中のお盆を除く毎週水曜日13:00～16:00、地域交流スペースを小学生～中学生の居場所として開放しました。13:00～14:00は学習スペースとしてみんなで夏休みの宿題に取り組み、14:00～16:00は自由スペースとしてボードゲームをしたり、他の子と遊んだり、おやつを食べたりして過ごしました。初めての試みで利用者は少数でしたが、今後も冬休みの長期休暇などを利用して地域のお子さんが居場所にできるようなスペースを企画していきたいと思います。

愛児園の子ども達の応援団として

ルミエール小児歯科院長 吉田 敦子 様

私は、川崎市宮前区鷺沼で小児歯科医院を開院しています。愛児園から、虫歯治療のため初めて当医院に来院されたのは2009年です。

それ以来20数名のお子様来院されています。職員の先生方に付き添われて来院する子どもたちは、両親と一緒に来院する子ども達と何ら変わらない印象です。先生をお母さん、お父さんと勘違いしてしまうことも多々あります。

当初愛児園に入所している子どもたちは、両親が病気、事故等による死別などの家庭の事情で育てられないといった理由で入所していると思っていました。しかし、昨年度歯科の専門誌から「虐待」をテーマに執筆依頼があり、参考のため施設の愛児園を訪問し、子どもたちの入所に至る個々の事情を施設の先生にお話を聞かせて頂きました。その中で、元気に治療にやってくる多くの子どもたちが私が思っていた以上の過酷な環境の中で育ち、入所に至っていたことを知りました。また同時に、愛児園では多くの先生、職員の方々が工夫、努力され温かい環境の中で子どもたちが日々過ごしていることを知りました。

来院する子ども達のお口の状態を見ると、幼い身におきたそれぞれの事情が垣間見えてきます。しかし、子ども達は「社会の宝」として心身ともに健康に育ち、それぞれの幸せな道を自分で歩める力が育つよう支援される必要があると考えます。

愛児園の機関紙を見ると、職員の先生をはじめ、地域の方、企業団体の方、多くの方々が愛児園に温かいエールを送っていることがわかり、心温まる気持ちになります。私も小児歯科医として愛児園の先生方と協力をして、子どもたちの口の健康を通して、それぞれの健やかな育ちを応援していきたいと思っています。



支援企業クローズアップ

川崎愛児園に継続的なご支援をしてくださっている企業の方々からメッセージを掲載いたしました。

スポーツからの学びを継続支援します

株式会社フアー・イースト・ネットワーク

代表取締役 村井 健児 様

簡単に自己紹介させていただきますと、大学卒業後に某都市銀行に就職。36歳で独立起業しました。プラスチックリサイクルの会社を営んで12年目になります。川崎愛児園様の児童のスポーツ活動をするためのわずかな寄付をさせていただいております。私自身にとっては中学から始めたラグビーが人生のほとんどの道を開いてくれただけでなく、人間形成や人生を豊かに楽しくしてくれるものであったと感じています。スポーツを通じて身についた挨拶、掃除、返事などは今もビジネスをする上で信頼関係の構築に役立っていると感じています。

約7年ほど前に、テレビ番組で施設の子供達は部活動やスポーツクラブでの活動に制限が出てしまうという特集を観ました。自分は両親から好きなスポーツを好きなだけやらせてもらいましたが、それができない環境の子供達がいることを知りました。白戸園長をお訪ねし、スポーツをやりたいという園児を応援させていただくことにしました。愛児園様からはいつも報告をいただき、園児がサッカークラブや卓球部で活動をしていると伺っています。子供達がそのような活動のなかで、楽しい思い出を作れたり、新しい友達ができたり、チームワークを学んだりできているのであれば嬉しく思います。

スポーツを通じて、今後の人生に必要な多くのことを学べると思います。目標を見つけること、計画を立てること、計画を自分で実行すること、問題の対処を自分で考えること、そして自分で結果を出すこと、自己分析、チームプレイ、コミュニケーション、リーダーシップ、そして粘り強く取り組む姿勢などなど。なかなか直接愛児園にお伺いして園児の皆さんとコミュニケーションをとる機会はありません。しかしながら陰から、微力ながらもスポーツをやりたいという園児への応援を末永く継続していくために自分のビジネスにより一層精進したいと考えている次第です。



ハンバーグを通じての交流会

株式会社アレフ びっくりドンキー鷹沼店

村屋 潤 様

びっくりドンキー鷹沼店と川崎愛児園との交流会が始まったのは、今から8年ほど前の2009年に遡ります。

当時の店長が犬の散歩をしていたところに、愛児園の生徒が駆け寄って来て、話をしている中から「びっくりドンキーのお店に食べに来れば」という一言から始まりました。

せっかくなので頂くのだから、交流を深めたいという従業員の声もあり、食事をするだけでなく、ビッグ大会やバルーンアートなどのゲームを通じて楽しんで頂く交流の場を毎年創ってききました。一昨年より2年間、愛児園の施設立替え工事に伴い実施できずにいましたが、今年は以前のようにこの交流会を開けたことを嬉しく思います。

この交流会は、店舗従業員にとりましても非常に良い機会となっております。保育士、幼稚園や学校の先生を目指している学生の方、また子育てをしている主婦の方に参加していただき、事前準備から開催のイメージを掲げ、運営の多くに携わることを通し、一人一人が自主性とやりがいを感じ、従業員教育としての役割も担ってくれました。今回も幅広い年代の子供達と交流できたことから多くのことを学べたと実感致します。びっくりドンキーの創業の精神の一つに、「店は学校であり、病院であり、母親代わりである」という想いをこの交流の場で実現できることに感謝します。

今後もこの交流会を継続して実施し、子供達を笑顔に、また我々も笑顔になっていけるようにと考えています。



短冊に願いを込めて

杉山 直也 様

「乙姫様と彦星様が無事に出逢えますように」七々が近付いてくる時期になると、この言葉がいつも鮮明に思い出されます。3年前、お父さんやお母さんに会いたいと毎回接する度に泣いていた女の子。そんな渦中、短冊に書いたお願い事の内容を尋ねると、その子からは冒頭に載せたような言葉が返ってきました。「自分の事は顧みずに、そっか」と思わずすうつと込みを入れたくなりながらも感動した時の記憶は今でも強く残っています。

これはたった一人の児童の話に過ぎませんが、今までの6年間を振り返ってみると、それぞれの子に対する思いや記憶は、皆それぞれにいろいろな形で感慨深げに思い出されるような形へと醸成されていることに気付かされます。彼らの過去からの現在に至るまでの成長を思えば、これからの未来もきっと明るいものであると信じられます。また、私自身も彼らのおかげで成長することができ、人間的に欠けていた部分を大きく取り戻すことにも繋がり、今後さらに人間として進むべき道が見えてきました。

幼少より極度の虐待と折檻を受けて育ってきた（というよりも生き延びてきた）私には子どもの成長を見守ることの意味が全くもって分からず、その意味を知るためにこのボランティアへ足を運ばせていただけてきました。それを受け入れてくださった愛児園及びすみれホームの皆様には深く感謝の気持ちが絶えません。

「子どもたちが皆、幸せでありますように」いつの日からか、心の中の短冊にいつもこう思い描いている自分がいます。



上段右端が杉山様

H28年度文体育行事・作品展の報告

卓球大会

小学生男子の部

.....Sくん 3位

小学生女子の部

.....Kさん 3位

中学生男子の部

.....Rくん 準優勝



野球・ソフトボール大会

女子ソフトボール：準優勝

駅伝大会

女子の部.....8位入賞

送別マラソン大会

女子3・4年生24kmの部

.....Nさん 準優勝

女子5・6年生4kmの部

.....Yさん 3位

女子中学生 4kmの部

.....Hさん 準優勝

あすなろ交歓会

横浜西ロータリークラブ会長賞

工芸の部 銀賞.....Sくん

工芸の部 銅賞.....Aくん

絵画の部 銅賞.....Sくん



年間行事

4月

お花見&BBQ、
入学式・入園式



5月

こどもの日
(市長様・市社協
会長様来園)



6月

班別遠足
卓球大会



7月

七夕会
幼児キャンプ
小学生キャンプ



10月

愛児園まつり
ハロウィン
パーティー
街頭募金



8月

野球・
ソフトボール大会
中高生キャンプ
水泳大会



9月

節分



3月

ひなまつり
スキー教室
卒園旅行
卒業と進級を
祝う会



12月

クリスマス会



1月

元旦
送別マラソン
あすなろ交歓会

